

神奈川県初、市営バスで燃料電池バスを営業運行します！

横浜市は、「Zero Carbon Yokohama」を掲げ、地球温暖化対策・エネルギー施策を強化し、持続可能な大都市モデルの実現に向けた取組を進めています。

その一環として、公共交通の低炭素化を図り、横浜市の水素施策をPRするため、横浜市営バスが水素を燃料とする燃料電池バス（以下、FCバス）を試験導入します。FCバスの営業運行は神奈川県内で初めてとなります。

今回の運行開始に先立ち、FCバス出発式及び試乗会を9月19日（木）に実施します。

1 FCバスの活用

10月2日（水）大さん橋入港予定の大型客船のお客様をお迎えするシャトルバスとして初運行します。その後、本市の環境イベント等へ出展や、みなとみらい地区等での路線運行を予定しており、本市の環境対策を積極的にPRします。

2 運行車両

FCバス「SORA（トヨタ自動車株式会社）」
1台6年リース

3 充填水素ステーション

ENEOS横浜南水素ステーション
（JXTGエネルギー株式会社）



【水素で走る！燃料電池（FC：Fuel Cell）バス】

- ・次世代エネルギーとして注目されている水素と酸素を取り込んで化学反応を起こし、電気を発生させます。その電気でモーターを回して走ります。
- ・走行中にCO₂や環境負荷物質を排出しない優れた環境性能と騒音や振動が少ない快適な乗り心地を実現しています。

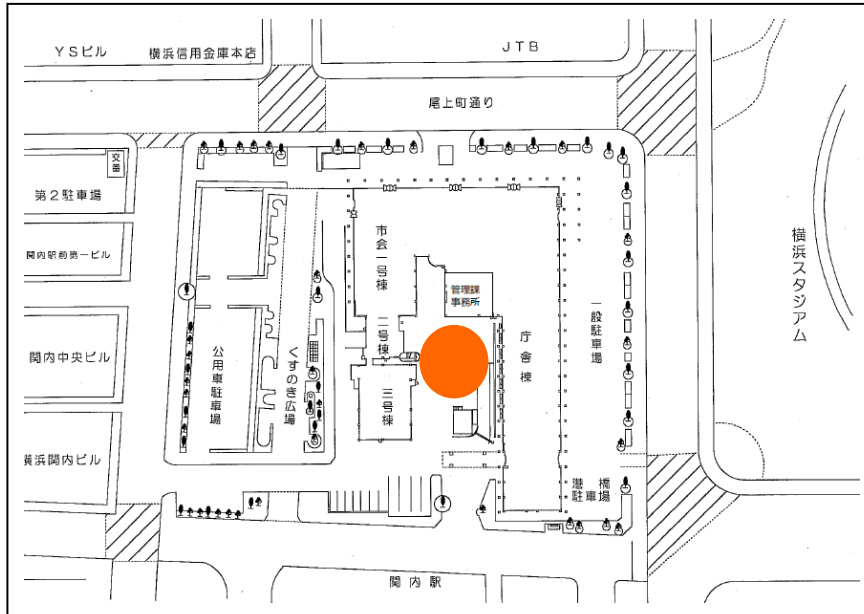
【FCバス SORA 概要】

- ・定員（座席+立席+乗務員）： 79（22+56+1）人
 - ・タンク容量：600L（10本）
 - ・外部電源給電システム
- 最高出力／供給電力量： 9kW／235kWh
出典：トヨタ自動車株式会社HP

■燃料電池（FC）バス出発式及び試乗会（報道関係者向け）

- ・開催日 令和元年9月19日（木）
- ・場所 横浜市役所中庭駐車場（裏面参照）
- ・予定 出発式 14:20～14:50
試乗会（第1便 14:50～15:10 第2便 15:10～15:30）
※出発式の詳細及び試乗会の経路は裏面参照
- ・雨天時 雨天決行。台風等の荒天の場合、横浜市役所2階応接室で開催。
- ・申込み 参加希望の報道関係者は、①会社名、②取材者名、③人数、④試乗希望の有無を記入の上、
【9月17日（火）午後5時まで】に下記連絡先まで電子メールにてご連絡ください。
連絡先：on-project@city.yokohama.jp（温暖化対策統括本部プロジェクト推進課）

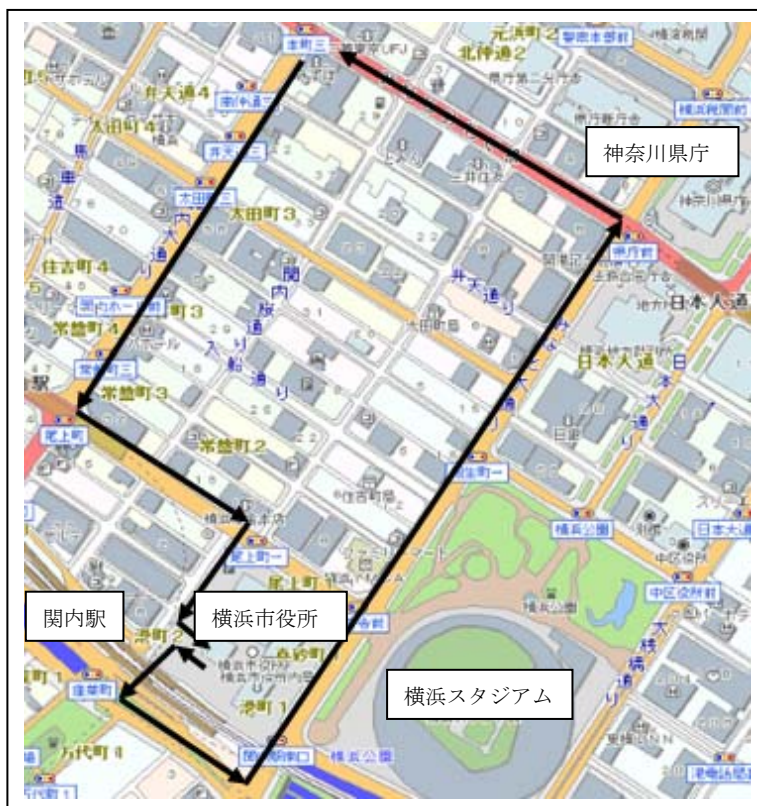
■出発式会場（横浜市役所中庭駐車場）



■出発式について

主な参加者：横浜市 平原副市長、トヨタ自動車株式会社、JXTGエネルギー株式会社
 次第：主催者挨拶、来賓紹介、テープカット、フォトセッション等

■試乗会経路



お問合せ先

(温暖化対策について)	温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長	岡崎 修司	Tel 045-671-2636
(燃料電池バスについて)	交通局自動車本部車両課長	石渡 浩之	Tel 045-326-3887